



喜小だより



令和3年12月7日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

様々な体験、心も身体も成長しています！

いよいよ師走です。朝の冷え込みも厳しくなってきました。学校でも暖房器具の使用を始めました。そんな中でも、毎朝元気に挨拶をしてくれる子どもたち、まだまだ半袖姿で元気な子どもたちを見ていると、寒さが吹き飛んでしまうような気持ちになります。

今、ラウンジには、下の記事にあるように「喜小のキラリさん」や11月に紹介した「いじめゼロ宣言」の掲示パネルが並べられています。喜小だよりの第19号で紹介した道徳の授業も、さらに充実しています。いろいろな体験ができたり、落ち着いて学習できるこの時期だからこそ、子どもたちの心や考え方、精神力など大きく成長しているように感じます。

また、身体もそうですね。充実した体育の時間や持久走記録週間、5・6年生の選抜された子どもたちが出場した「さくら市小学校駅伝大会」、火曜日と木曜日のスポッチャ、それと休み時間に活発に動き回る子どもたちを見ていると、心も身体も少しずつ成長しています。



喜小のキラリさんをさがそう週間 11月15日(月)～19日(金)

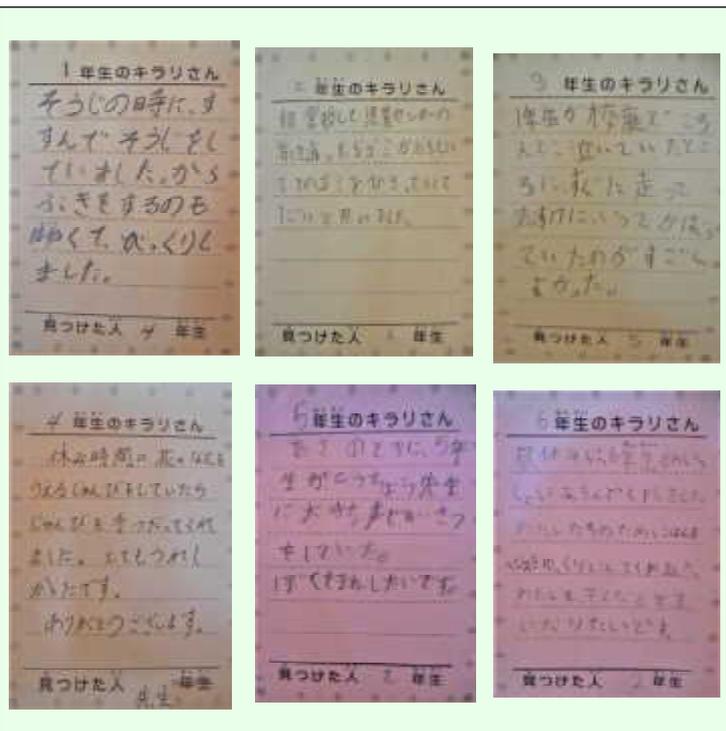
年に2回実施している「喜小のキラリさんをさがそう週間」。7月に続き2回目を実施しました。今回は、前回の7月の倍に近い、約400人の「キラリさん」が見つかりました。5年生から3年生へ「1年生が校庭で転んで泣いていたときに、すぐ走ってきて助けてあげていました。」とか、2年生が6年生へ「昼休みに一緒に遊んでくれました。私達のために走るペースをゆっくりしてくれました。私もこんな6年生になりたいです。」などです。キラリさんが日常的に増えていることや、その優しさや素晴らしい行いに気がつく子どもたちが増えていることが、とてもうれしいです。



キラリさんをさがそう週間の様子



現在もラウンジに掲示しています



挨拶いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

人権教育研究発表会 12月3日(金)

令和2年度から2年間、栃木県教育委員会及びさくら市教育委員会より「人権教育」に関する研究校として指定を受け、研究を重ねてきました。本校の研究は、特別の教科である道徳の授業の充実を図ることによって、子どもたちの思いやりの心や相手を尊重する態度などを養うことを中心にすすめて行ってきました。それに加え、表面で紹介した「喜小のキラリさん」などの全体的な活動を通して、実践的をしていこうとする心情や認められたという自己有用観を高め、相手の気持ちを考えてよりよく行動する子どもたちに育てていくものです。研究発表会では、栃木県教育委員会やさくら市教育委員会をはじめさくら市内の先生方に、道徳の授業を公開したり、これまでの研究の概要を説明したりしました。最後に、本校の研究を支えてくださった白鷗大学の中山和彦先生の講演をいただきました。



来年生との交流会 11月30日(火)

1年生の生活科の学習です。幼稚園や保育園の年長の児童を招いて「交流会」を実施しました。この日は、2・3組の児童が、喜連川幼稚園の子どもたちとの交流会を楽しみました。約1ヶ月前から計画を練って、いろいろな準備を行ってきました。日頃は、学校で最年少であるため、遊んでもらったり、招待されたりする立場が多いのですが、今回は自分たちで計画を立て、自分たちで準備をし、自分たちで案内します。自主性や意欲が高まるとともに、グループ活動が上手にできるようになり、ぐんぐん成長していきました。



さくら市小学校駅伝競走大会 12月2日(木)

さくらスタジアムを会場に駅伝大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症への対応のため、2年ぶりの開催になります。この大会は、1チーム8人でたすきをつなぎます。本校からは、5年生2チーム、6年生2チームの合計4チームが出場しました。会場への出発前に、「学校のために、学校に残る友だちのために、そして自分のために頑張ってください」と話をしました。5年生にももちろん初めての大会になりますが、6年生にとっては、初めてでありながら最後の学校代表としての大会になります。

レース中、目の前を走り抜ける姿を見ながら、一生懸命に走る姿に感動して涙があふれそうになりました。子どもたちの頑張る姿っていいものですね。子どもたちも、全力で走り、終わったときには満足そうな笑顔を見せていました。最後の写真は、6年生で撮影した卒業アルバム用に集合写真です。

